

## ●第 66 回数理社会学会大会の報告申し込みについて (Call for Papers)

第 66 回数理社会学会大会は、**2018 年 8 月 30 日 (木)、31 日 (金)** の日程で会津大学にて開催されます。つきましては、研究報告を下記の要領で募集します。下記の注意事項等を良くお読みの上、奮ってご応募ください。おおむね大会 1 か月前に学会ウェブページでプログラムが公開されます。

### 1. 募集する報告・企画

(1) 「自由報告」の申込期間は **2018 年 6 月 8 日 (金)～6 月 22 日 (金) (必着)** です。

- ・数理・計量社会学あるいはそれと関連する研究領域のなかで、報告者が自由にテーマを選んで報告するものです。
- ・報告形態は口頭発表のみで、発表 15 分、討論 10 分です。英語で報告することができます。
- ・数理社会学会ホームページにある報告申し込みフォームに記入・送信し、報告要旨を第 66 回大会報告申し込み専用アドレス宛に電子メールで提出することで、正式の申し込みとします。学会ウェブページの「Call for Papers」ファイルを熟読のうえ、報告申込と報告要旨の作成をお願いします。報告の概要と報告要旨では、すくなくとも「目的・方法」と「結果・考察」に分けて、それぞれ明確に記述してください（報告要旨の節タイトルは変更可）。
- ・登壇者は、**数理社会学会ホームページにある申し込みフォームに記入・送信し、報告要旨を第 66 回大会報告申込専用アドレス宛に**電子メールで提出してください。報告要旨が報告要旨集に収録されます。
- ・提出期限は**日本時間の 6 月 22 日 (金) 23 時 59 分 59 秒**です。提出期限を過ぎた申込は一切受け付けません。

(2) 「萌芽的セッション報告」の申込期間は **2018 年 6 月 8 日 (金)～6 月 22 日 (金) (必着)** です。

- ・萌芽的なアイデア、厳密な定式化には至っていない発展途上の研究などをポスター形式で報告し、オーディエンスとのやりとりを通して発展させることをねらいとします。
- ・報告形態はポスターのみです。最大 A0 判が利用可能です。英語で報告することができます。
- ・学会ホームページの**大会報告申し込みのフォームに記入し、送信することで正式の申し込み**とします（報告要旨は提出不要）。学会ホームページの「Call for Papers」ファイルを熟読のうえ、報告の申込をお願いいたします。タイトル、報告の概要が、報告要旨として記載されます。
- ・報告申込数が多い場合、セッションを大会 1 日目と 2 日目に分割する 2 部制で実施する可能性がありますので、ご了承ください。
- ・登壇者は、**数理社会学会ホームページにある申し込みフォームに記入・送信**してください。
- ・提出期限は**日本時間の 6 月 22 日 (金) 23 時 59 分 59 秒**です。提出期限を過ぎた申込は一切受け付けません。

(3) 「会員発案の特別企画」の申込期間は **2018 年 5 月 21 日 (月)～5 月 30 日 (水) (必着)** です。

- ・「会員発案の特別企画」は、課題を設定した部会の編成など、自由報告とは異なる研究報告の企画案を募集するものです。「企画書」を提出することで正式の申し込みとします。企画書の作成方法については、別紙を参照ください。
- ・代表者が書類を、**研究事務局に**電子メールで提出してください。
- ・提出期限は**日本時間の 5 月 30 日 (水) 23 時 59 分 59 秒**です。提出期限を過ぎた申込は一切受け付けません。
- ・企画の採否を研究活動委員会にて審査し、締切後一週間以内に結果をお知らせします。

### 2. 報告申込の注意事項（各報告共通）

- (1) 発表日時に関する要望、申し込み後の共著者の追加・変更、タイトルの**変更には応じられません**。
- (2) 1 人が登壇できるのは、「学会賞受賞講演」「シンポジウム」など特別企画を除き、**原則 1 回**としま

- す（ただし、自由報告と萌芽的セッション報告の登壇は両方できます）。
- (3) 今回の大会では、報告要旨は大会前から大会期間中にかけて、ウェブ上で公開します。そのため、カラーのグラフや画像にも対応可能です。
- (4) 形式が著しく不備である場合、あるいは内容が著しく不明瞭あるいは学会の趣旨から乖離している場合、自由報告から萌芽的セッション報告に移動していただいたり、受理されない可能性があります。

### 3 申込先

報告希望の方は、学会ホームページから、大会報告申し込みのフォームにご記入いただき送信してください。自由報告については、報告要旨を大会報告申し込み専用アドレスにもお送りください。大会報告申し込み専用アドレスにメールをお送りいただいた場合、申込者に受付確認メールが自動的に返信されます（共同報告の場合、受付確認メールは申込者のみに返信されます）。もし受領確認メールが届かなかった場合は、何らかの原因で研究事務局にメールが届いていない可能性がありますので、研究事務局にお問い合わせください。なお、ご利用の環境によっては確認メールが迷惑メールに振り分けられてしまう場合がありますので、確認の際はご注意ください。

・第66回大会報告申込専用アドレス（お申込みいただくと受付確認メールが自動的に返信されます）  
e-mail : jams66entry[at]gmail.com

・受付確認メールが届かない場合の連絡先（研究事務局）  
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45  
慶應義塾大学法学部 竹ノ下弘久  
Tel: 03-5427-1097  
e-mail : jams.research[at]gmail.com

※メールアドレス内の[at]は@に置き換えてください。

## 【下記の注意事項をご確認ください】

### 自由報告申込書 注意事項

#### (1) 提出方法

・登壇者は学会ホームページの報告申し込みのフォームに記入・送信し、報告要旨 (Word ファイルなど)、ウェブ掲載用の報告要旨の版下 (PDF ファイル) の3つを電子メールに添付して、第66回大会報告申込専用アドレスに送付してください。

・メールタイトルを「**JAMS66 自由報告申込 (氏名)**」、報告要旨ファイルを「**JAMS66 報告要旨 (氏名)**」のように、登壇者氏名を記入してください (要旨を TeX などで作成する場合は Word ファイル不要)。

#### (2) 報告要旨作成要領

・報告形態は口頭発表のみです。報告要旨は大会の2週間ほど前から大会期間中に学会ホームページで公開されます。見本ファイルを参照し、以下にしたがって作成してください。見本ファイルに上書きしても結構です。

・著者校正はありません。

(ア) サイズと分量：A4 判モノクロ。2 ページか4 ページのどちらかのみ (図表含む)。

(イ) レイアウトとフォント：上下 30mm, 左右 20mm の余白。1 段組。ページ番号は記入しない。原則として日本語は明朝体，英数字は Times New Roman 体。1 ページ目は以下のとおり。

1 行目：タイトル (18 ポイント)

2 行目：サブタイトル (あれば) (14 ポイント)

3 行目：空白

4～5 行目：氏名，所属。発表者が複数の場合，登壇者氏名の先頭に○印 (12 ポイント)

6 行目：空白

7 行目以下：本文 (節タイトルはボールド 12 ポイント，本文は 10.5 ポイント)

(ウ) 言語：日本語または英語。

(エ) 研究事務局で形式を整えることがある。

#### (3) 使用機器について

・パソコン用プロジェクタを使用できます。会場設置パソコンは、OS が Windows7，MS Office 2010 を利用可能です。ファイルは当日持参してください (USB メモリが利用可)。

・持参パソコンの場合，Windows ノートパソコンが使用可能で，接続口はミニ D-Sub15 ピンです。Mac を使用する場合は，専用コネクタを準備してください。

## 【下記の注意事項をご確認ください】

### 萌芽的セッション報告申込書 注意事項

#### (1) 提出方法

・登壇者が学会ホームページの報告申し込みのフォームに記入し、送信してください。 報告要旨原稿と報告要旨印刷用版下は不要です。

#### (2) ポスター作成要領

・報告形態はポスターのみです。以下にしたがってポスターを作成して、ご持参ください。

(ア) 最大で A0 判（横 841mm, 縦 1189mm）のスペースが利用可能。ただし、最大の大きさである必要はない。

(イ) ポスターには、発表者全員の氏名・所属と、タイトルを記載。

(ウ) 日本語または英語で作成。

(エ) ポスターの貼りつけには画びょうあるいはセロハンテープ使用（いずれも開催校が用意）。